

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
教育相談（カウンセリング含む）		（ 講義 ・演習・実習）	鈴木 崇弘	臨床心理士 学 校 カ ウ ン セ ラ ー
授業の回数	時間数（単位数）	幼稚園教諭専攻科		必修・選択
12 回	24 時間（2 単位）	前期		必修
[授業の目的・ねらい及び概要] ・教育相談は、現在の学校教育の全ての活動の中で、幅広く実践されており、教師にとって不可欠な資質であるといえる。そこで、学校教育における教育相談とはなにかその意義を課題を理解し、教育相談に関わる心理学の基礎的理論や概念を学ぶと共に、教育相談を進める際に必要となる基礎的知識を身に付ける。 また、教育相談の具体的な進め方や、組織的な取り組みや連携の必要性について理解する。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. 教育相談の意義とは何か～教育相談の歴史、教育相談の意義と役割～ 2・来談者中心カウンセリングとカウンセリングマインド～来談者中心カウンセリングの意義と教師に必要とされるカウンセリングマインドへの理解。受容・傾聴・共感的理解を学ぶ～ 3・開発的カウンセリング～問題予防や児童生徒がよりよく生きるためのカウンセリングマインドについての理解～ 4・様々な心理療法①～教育相談に役立つ精神分析を基本とする心理療法、 5・様々な心理療法②～教育相談に役立つ行動療法・認知行動療法 6・様々な心理療法③教育相談に役立つ家族療法および短期療法 7・パーソナリティ理論の類型論と特性論 8・発達～発達とは何か、発達段階についてに諸理論を学ぶ 9・発達障がいの特性について理解をし、その特性にあった働きかけを学ぶ 10・心の問題の種類を知り、その概略を理解する。（統合失調症・気分障害・摂食障害・不安障害・チック・自傷行為・心身症・緘黙症など 11・教育アセスメントとは何か。～子どものアセスメントの重要性を理解し、様々な心理テストの概略を学ぶ～ 12・不登校・不登園や非行、いじめ、虐待などの原因論の理解とメカニズムを学ぶ。それぞれへの予防・開発的教育相談としての対策と治療・矯正的教育相談としての対策の理解（相談計画や目標の検討などを行い、ロールプレイングで学習する）				
[使用テキスト] 「カウンセリング学習のためのグループワーク」				
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・考查点(75%) ・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。 ・平常点(25%) ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。				

(